

第2期宮城県食育推進プランの目標値(案)

目標指標等	第1期からの方向性	基準値(年度)	目標値(H27)	目標値の考え方	説明	
1 食生活に関する課題						
朝食を欠食する県民の割合	小学6年生	変更	3.4%(H22)	2.0%	教育振興基本計画の目標値	対象者：小学5年 小学6年(全国学力・学習状況調査)
	20から30歳代男性	継続	(調整中)	(調整中)	H22県民・健康栄養調査の結果を基に設定	
「健康づくりサポート・おもてなしの店」参加店数		廃止			制度見直し予定のため、指標としては廃止	
脂肪エネルギー比率の減少(20～40歳代)		新規	3.4%(H22)	(調整中)	H22県民・健康栄養調査の結果を基に設定	調査は概ね5年ごとのため、経年変化は国民健康・栄養調査の結果を活用
野菜摂取量の増加(成人)		新規	307.8グラム(H18)	(調整中)	H22県民・健康栄養調査の結果を基に設定	
主食・主菜・副菜をそろえて食べるようにしている人の割合		廃止			経年変化が把握できないことから廃止。	
食事の量は適量を心がけている人の割合		廃止				
栄養成分表示を参考している人の割合		継続	(調整中)	(調整中)	H22県民・健康栄養調査の結果を基に設定	
1日当たりの野菜摂取の目安量(350g以上)を認知している県民の割合		廃止			「野菜摂取量の増加」へ移行	
2 食に関連する健康上の課題						
肥満傾向児の出現率	小学6年生(男子)	新規	15.02%(H21)	10.0%	H21全国平均値を目標とする。	対象学年について、男女とも肥満出現率がピークとなる小6とする。学校保健統計調査により集計
	小学6年生(女子)	新規	13.46%(H21)	8.0%	H21全国値を目標とする。	
メタボリックシンドローム該当者及び予備軍の割合(40～74歳)		変更	30.8%(H20)	26.7%	H20年特定健診結果の全国平均値を目標とする。	「肥満者の割合」は、5年ごとの調査となり状況把握がしづらいため、新たな指標を設置
3歳児の一人平均むし歯数		新規	1.52本(H20)	(調整中)	「(仮称)宮城県歯科保健計画」の策定とあわせて設定する。	全国最低水準であるため、取り組むべき指標。3歳児歯科健康診査で毎年把握
3 地産地消の取組						
完全給食実施校のうち、米飯給食を週3回以上実施する小中学校等の割合		廃止			実績が98.5%と高水準で固定化。今後も同様の傾向が継続することが見込まれる。	
学校給食の地場産野菜等の利用品目数の割合		継続	30.8%(H20)	33.6%	「第2期農業農村整備基本計画」(策定中)の目標値	1食あたり8.57品目のうち、2.88品目を目標とし、目標値を上げて継続
主要な都市農山漁村交流拠点施設の利用人口		変更	887万人(H21)	1,000万人	「第2期農業農村整備基本計画」(策定中)の目標値	交流施設の開設箇所数から変更して新規で設定
農産物直売所推定売上高		新規	69億円(H21)	85億円	過去5か年の販売額増加率等を基礎に設定	固定店舗で対面販売をしている直売所が対象。金額は自己申告
農業体験学習に取り組む小・中学校の割合		継続	79%(H22)	90%	これまでの増加率等を考慮して設定	食の大切さと食料自給率の理解醸成のため、目標値を上げて継続
4 食の安全安心						
みやぎ食の安全安心消費者モニターの活動参加率		変更	64%(H21)	80%	基準値から毎年4ポイント増加	「みやぎ食の安全安心消費者モニター数」は目標達成見込。数から参加率へ指標変更
5 食育の推進						
食生活改善推進員の活動対象延べ人数		廃止			目標を達成したため、廃止。地域での食育活動指標は、コーディネーターへ移行	
食育推進ボランティア数		廃止			目標達成見込みのため、廃止。食育推進ボランティア等の指標としてはコーディネーターへ移行	
食育コーディネーターによる食育推進活動への参加人数		新規	7,132人(H21)	15,000	将来ビジョン行動計画の目標値を参考として設定	活動実績報告により経年で数値把握が可能
教育ファームの取組がなされている市町村		廃止			目標達成見込みのため、廃止	
食育推進計画を作成・実施している市町村の割合		継続	80%(H21)	100%	全市町村の計画作成と実施を目指す。	目標及び目標値を継続